

# 米の直売を契機に法人化、規模拡大とアスパラガス栽培で経営安定を実現

ほそだのうさん

## ～（有）細田農産（長野県安曇野市）～

### 経営体の概要

法人設立前：平成14年度

基幹作物：主食用米12ha, 小麦10ha,  
大豆6ha, そば5ha  
(合計：33ha)

経営面積：20.8ha

現在：令和2年度

基幹作物：主食用米17.2ha, もち米2.8ha, 酒米4.3ha,  
飼料用米1.6ha, 小麦15.3ha, 大豆14.3ha,  
そば16.4ha, アスパラガス0.6ha  
(合計：72.5ha)

経営面積：58.5ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、米の直接販売をきっかけに平成15年に設立された。

法人化し地域の中核農家となったことで、高齢化した農家からの農地集積が進み、法人設立前の20.8haから現在は58.5haまで経営規模を拡大している。規模拡大に伴い、経営の安定を図るため、事業により安定供給されている農業用水を活用しアスパラガスを新規導入したほか、水稲直播栽培による低コスト化に取り組んでいる。

ほ場は、昭和60年から大区画に対応した耕区均平のほ場整備事業を実施、その後に集積したほ場の畦畔を取り払うことで、大型機械の導入と低コスト化が図られた。

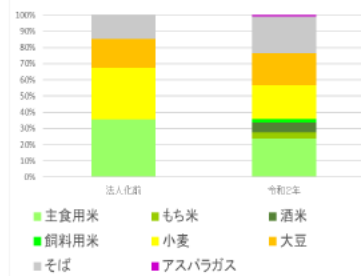
## 営農改善のポイント

### ①経営規模の拡大

高齢化により水田を維持できなくなった農家が増えたことから、法人化し地域の中核農家として信頼を得てきた本経営体は、農地中間管理機構を介して農地を引き受け、設立以前は経営面積が20.8haであったが、農地集積により現在は58.5haまで経営規模を拡大している。

また、直播栽培（3.6ha）の導入のほかもち米、酒米、アスパラガス等を新たに導入している。

栽培作物の構成比



### ②栽培技術の確立・向上

本経営体は、米の直接販売を契機に設立され、主食用米は自家製有機堆肥を用いて、減農薬減化学肥料による栽培を行っている。また、穂肥の適宜散布、土壌診断に基づく肥料設計による独自の堆肥、土壌改良材の使用により品質の向上を図っている。



長野県育成品種  
「風さやか」

### ③流通・販売の工夫

直接販売に必要な農産物検査資格を取得するとともに、長野県育成品種「風さやか」の研究グループを立ち上げ、安曇野市とともにブランド化に取り組んでいる。また、自社直販サイトを作成し、消費者のニーズに対応した品種等の栽培・販売を行っている。



アスパラガスの栽培

## 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市：長野県松本市、安曇野市、塩尻市、山形村  
朝日村

受益面積：8,847ha

事業期間：平成17年度～平成26年度

事業目的：用水改良

主要工事：頭首工1か所、用水路L=28.5km

位置図（長野県）



中信平二期地区

### <問い合わせ先>

関東農政局

農村振興部農地整備課

電話：048-600-0600

(令和2年度調査時点)